

=消防署=

1 警防行政状況

緊急出動状況

消防部隊の緊急出動状況は7,756件で、昨年度と比較して593件増加している。

1日当たりの平均出動件数は21.2件となっている。また、火災、救急及び救助出動以外に、1,519件の緊急出動をしている。

緊急出動を種別ごとに見ると、救急出動が6,010件(77.5%)と最も多く、次いで、救急支援出動が1,400件(18.1%)、救助出動が120件(1.5%)の順となっている。

種別		火災	救急	救助	警戒	救急支援	合計	比率
本署	令和2年度	31	1,456	72	74	278	1,911	26.7%
	令和3年度	39	1,513	69	32	413	2,066	26.6%
稲沢東分署	令和2年度	22	2,410	28	60	487	3,007	42.0%
	令和3年度	31	2,717	32	41	581	3,402	43.9%
祖父江分署	令和2年度	12	798	14	50	166	1,040	14.5%
	令和3年度	16	841	9	25	183	1,074	13.8%
平和分署	令和2年度	20	914	11	55	205	1,205	16.8%
	令和3年度	21	939	10	21	223	1,214	15.7%
合計	令和2年度	85	5,578	125	239	1,136	7,163	100.0%
	比率(%)	1.2	77.9	1.7	3.3	15.9		
	令和3年度	107	6,010	120	119	1,400	7,756	100.0%
	比率(%)	1.4	77.5	1.5	1.5	18.1		

(注) 1 「警戒出動」とは、ガス漏れ、怪煙、即時通報、漏油、障害物及びその他の災害の発生が予想されるときに出動するものをいう。

2 「救急支援出動」とは、次の場合に救急隊の活動を支援するために出動するものをいう。

- (1) 119番通報時に心肺停止状態等で、高度な救命処置が必要な場合
- (2) 階段や道路等が狭く、救護・搬送に時間がかかる場合
- (3) 事故現場や交通量の多い幹線道路で、二次災害の危険がある場合

2 訓練等の実施状況

(1) 普通救命講習会

(単位：人)

区分	内訳 回数	受講者数			指導 職員
		計	男	女	
定期講習（毎月19日）	21回	78	34	44	21
随時講習	22回	214	79	135	30
合計	43回	292	113	179	51

(2) 自主防災会・学校・事業所等への訓練指導

(単位：人)

機関名	実施回数	参加人員	指導職員
自主防災会	9回	408	30
教育機関（学校・保育園等）	26回	5,262	76
事業所	65回	2,024	191
合計	100回	7,694	297

(3) 消防団訓練

(単位：人)

実施回数	参加人員	指導職員
27回	427	34

(4) 国府宮難追神事警備

実施日	令和4年2月13日（日）
消防詰所	稲沢市総合文化センター
警備延べ人員	56人
搬送人員	20人

(5) 合同訓練

ア 震災対応合同救助訓練

実施日	令和3年11月8日（月）
実施場所	春日井市消防本部 西山消防訓練場
参加機関	稲沢市消防本部、春日井市消防本部
参加人員	32人（うち稲沢市消防本部16人）

イ 尾張西北部地区消防合同訓練

実施日	令和3年11月11日（木）
実施場所	社会福祉法人 杏嶺会 一宮医療療育センター
参加機関	稲沢市・一宮市・江南市・岩倉市・西春日井広域(組)・丹羽広域(組)・一宮医療療育センター
参加人員	66人（うち稲沢市消防本部4人）

ウ 愛知県防災航空隊との合同訓練

実 施 日	令和3年11月19日(金)
実 施 場 所	稲沢市陸上競技場
参 加 機 関	稲沢市消防本部、愛知県防災航空隊
参 加 人 員	18人(うち稲沢市消防本部13人)

3 住宅用火災警報器アンケート(各行政区長を対象に実施)

実 施 対 象 戸 数	159戸
実 施 数	142戸
設 置 率	45.8%

4 消防水利の調査状況

現 有 水 利 数	2,164基	調 査 延 べ 水 利 数	4,328基
調 査 回 数	298回	調 査 延 べ 人 員	944人

5 119番受信状況 (単位:件)

区 分	火 災	救 急	救 助	合 計
1 1 9	18	3,131	14	3,163
携 帯 1 1 9	72	2,744	46	2,862
合 計	90	5,875	60	6,025

